


教育事業名	むろとでチャレンジ①「3・4年生宿泊体験①②」	
事業の趣旨	5年生で各学校で行われる集団宿泊訓練を前に、宿泊体験を行うことで各校での集団宿泊訓練時にリーダーとして活躍できる人材を育成する。また、高知県内の様々な学校の児童が1泊2日の活動をともしること、積極的に仲間づくりをする姿勢を養う。	
対象者	小学3・4年生	
実施期間	A日程 平成29年5月20日(土)～5月21日(日) B日程 平成29年5月27日(土)～5月28日(日)	
参加者 (人数/定員)	A日程 40名/40名 B日程 38名/40名	
活動プログラム	A日程 5月20日(土) B日程 5月27日(土)	A日程 5月21日(日) B日程 5月28日(日)
活動の様子	<p>1日目 初めての宿泊体験という参加者が多く、バスに乗り込む際、保護者との別れに涙ぐむ参加者も見られた。ボランティアリーダーのバスレクの効果もあり、室戸に近づくころには笑顔が見られるようになっていた。入所後はボランティアリーダー企画の仲間づくりゲームを通して、参加者全体や班での親睦を深めた。その後、外に出てスコアオリエンテーリングを行った。グループ内で5m以上離れないことや喧嘩をしないこと等を約束し、班ごとに作戦を立てて所内に散っていった。地図と実際の距離感に戸惑い、自分たちのいる位置が分からなくなる班がたくさんいた。迷いながらも、ポストを見つけ、リーダーを中心に班の結束が高まっていた。夜は、天体観測を行い、班ごとに望遠鏡をのぞいて木星の衛星を見たり、春から夏にかけての星座の観察をしたりした。初めて望遠鏡を覗く参加者が多く、木星の見え方に驚いていた。</p>  <p>2日目 朝食までに寝具を片づけたり、自分の荷物をまとめたり、部屋の掃除をしたりと忙しい時間を過ごした。わずか1泊ではあるが、学校を超えた仲間意識が出来上がっていて、自分のところだけでなく、部屋全体が合格するように協力が見られた。最後の野外炊事では、</p>	

二日間優しく接してくれたボランティアリーダーに美味しいカレーを食べさせることを目標に、それぞれが自分にできることを考えて、カレー作りに取り組めた。ご飯の炊きあがりやカレーのルーを入れるタイミング等で苦勞する班が多かったが、班全員で話し合ってタイミングを見計らっていた。ご飯の蓋を開けた時には、どの班も歓声が上がっていた。



#### 事業の成果

・参加者に大きな病気やケガがなく、また両日とも天候に恵まれ、予定していたプログラムがすべて順調に進んだ。十分に体験活動が行え、今回得た経験は各学校で行われる集団宿泊体験の際に彼らの役に立つものになったはずである。事業全体を振り返ると、3・4年生にとっては初めての経験が多いせいも、何をすることも楽しみながら取り組んでいた姿が印象的だった。また、ボランティアリーダーを先生と呼ぶ参加者が多く、リーダーの言うことをよく聞いて、班でよくまとまって活動ができていた。

#### 事業の課題

・一つ一つの動きが遅いため予定より準備に時間がかかる場合があった。先に大まかな行動の流れを参加者に伝えておくことで時間の短縮を図り、活動時間を確保するよう努めたい。

#### 参加者の感想

- ・勉強になった。
- ・カレー作りがおもいでにのこった。
- ・いろいろなことを知った。
- ・楽しかったから、また出してほしいです。
- ・友だちがふえていっしょにまなべた。
- ・星がすごくきれいだったし、ぼうえんきょうで見るのがはじめてだった。
- ・これからも、もっと自然の家の事業を毎回やる。
- ・またさんかしたい。